

『本願寺 西山別院』

全国の別院シリーズ その15

平安時代、桓武天皇の発願により、伝教大師最澄は京都西山の地に「久遠寺」を創建しました。恐らく800年前後のことと思われます。この「久遠寺」が西山別院の前身となりますが、やがて廃れ長らく荒れていた模様です。その寺基を、1314（正和3）年、本願寺第三代宗主覚如上人が復興されました。以後「久遠寺」は浄土真宗「念仏の道場」となります。

覚如上人ご往生の後はお廟所がつくられ、「久遠寺」は本願寺歴代宗主兼帯所として大切にされてきました。ところが室町期に入ると、応仁の乱が勃発。戦国時代には織田信長との抗争が起きるなど、本願寺に対する法難が相次ぎ、「久遠寺」は騒乱の最中再び荒廃していきました。漸く再興の兆しが見え始めたのは、乱世が終焉を迎え、本願寺の寺基が堀川花屋町に定まり、東西本願寺の分立騒動も落ち着いた頃。第十四代寂如上人先導のもと「久遠寺」の寺地は、徐々に整っていきます。

1756（宝暦6）年、第十七代法如上人の時、本願寺旧本堂（阿弥陀堂）が、新たな本堂造営に伴い、西山の寺地に移築されました。これを機会に、諸堂が次々と建立され、やがて一時は本願寺筆頭別院に列せられるほど、当寺院は興隆しました。

大正時代、現中央仏教学院の元となる学林が設けられました。その流れを汲み、現在では浄土真宗本願寺派僧侶を育成する「得度習礼・教師教修研修道場」と、宗教的情操教育を主眼とする「西山幼稚園」が境内に併設されています。

覚如上人最大のご功績は、本願寺教団を創設されたことにあります。そのフロンティア精神は今尚西山の地に息づき、未来の伝道者を育てているのです。



西山別院

今後の法要スケジュール

「宗祖聖人月忌」

門信徒祥月命日法要」 （善教寺本堂）

七月 十六日（日）午後一時半～

* 毎月十六日に本堂において勤めております。

「夏の子ども会」 （善教寺本堂）

七月 二十八日（金）午前十時半～午後三時

講師 根来智師（呉市阿賀北宝徳寺）

* 仏教婦人会主催行事

・ 仏さまの話を聞き、本堂でゲームをします。

・ 昼食は、仏教婦人会役員さん手作りカレーを頂きます。

「盂蘭盆会納骨法要」 （善教寺本堂）

八月 七日（月）昼席：午後一時半～

八日（火）朝席：午前十時～

昼席：午後一時半～

講師 登世岡 浩雄師（広島市東区牛田 安楽寺）

* 送迎マイクロバスを運行します。



ご縁に感謝

善教寺ホームページ『縁』 <http://www.otera.or.jp/> メール zenkyo@otera.or.jp